

## 【寄附講義視察報告】

平成30年度の柑芦会本部による寄附講義「現代経営実践論」で若手先輩による7つの講義が10月4日（木）から11月22日（木）まで行われています。講義をご担当いただいた講師の皆様へこころから御礼申し上げます。

今回初めて講義を担当していただいた、大和ハウス工業（株）勤務の56期南 さと子様による第2回目の講義のポイントをご紹介します。

10月18日（木）13時10分から16時20分までの講義で、今回は製造業（宣伝、広告）業界でした。受講者数は96名で、3回生を中心にアクティブラーニングのメンバーグループで着席しています。

まず、この講義には授業料で換算すると全員で80万円分であり、講義するものも大変緊張するとの、時間とコスト意識の導入から受講生の心を捉えて。その後自己紹介から会社



の動画紹介を行いました。面接での女性に対する当時の面接官の意識についても体験談を話されていました。

講義の内容は以下の通りです。

(1) 自己紹介 (2) 法人営業で得たこと、苦労話やマイベストな仕事 (3) 大手アパレルメーカーとのコラボにより、EC 事業での物流センターへの出向経験での企業文化の違い (4) 営業とは違う部署に戻り、現在の総合宣伝部での企業ブランド浸透のための業務内容 (5) 業界の中での位置づけや競合 (6) アクティブラーニング (6) 小テスト



物事の捉え方や考え方は複数あり、誰かに何かをわかるように伝えるには  
根拠が必要であり、いろいろと知っていることが重要だと強調していました。  
そして、限られた時間内に成果や結果を出すことの重要性も強調していました。

工期などの遅れたクライアント様との対応を通じて、お客様との今でも続く人間関係を構築したり、社内でも最高のチームを作ることができたマイベストには感動しました。

休憩後のアクティブラーニングでは  
大和ハウス工業が東京オリンピックオフィシャルパートナーとして活動している  
こともあり、「2020年東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げよう！ in 和歌山企画」と題しての7チームでのワークと発表が行われました。

家、そして近未来をつくる。



オリンピック前に競技を体験するとか、白浜を国際空港として活用してアドベンチャーワールドでアピールとかミカンを投げ合いするみかん祭りなどのイベントと開催など、ポイントを絞った素晴らしい発表ばかりで講師も満足していました。



最後に、「できない理由を探さない」を是非実践してほしいと強調されていました。

Ai 時代になってもクリエイティブな部分は補えないので、活動欲と印象に残るアイデアが大切とのアドバイスです。

初めての講義で緊張されていましたが、回収したレポートでは学生に多くの収穫があったようで、本人もほっとされていたようです。

南様、本当にありがとうございました。

寄附講義実行委員 渡邊記